

令和6年度 長野看護専門学校学校関係者評価委員会 議事録

日 時 令和7年4月18日(水)14:00～15:30

場 所 長野看護専門学校 会議室

出席者:委員 15 名の内 14名の委員が出席 1/2 の出席にて会議成立

【外部委員】6名中5名出席(欠席の1名からは文書にて意見をいただいた)

須田 まゆ美	JA 長野厚生連長野松代総合病院 統括看護部長
倉石 榮二	芹田地区住民自治協議会 会長
西山 純一	長野市保健福祉部 医療連携推進課 参事兼課長
丸山 真弓	長野看護専門学校 卒業生
臼井 豊子	長野県看護協会長野支部 支部長
宮坂 彩水	保護者代表

【教職員】釜田 秀明 学校長以下 8名

1. 学校長あいさつ(釜田学校長)

今年度、120 人定員のところ、入学者の人数が減少している。昨年、広報活動を広く行い、若干であるが増加した。現在、長野市医師会からの繰入金が 7000 万を超える見込みである。しかし、看護師を輩出することは必要であるという考えから、長野市に働きかけ、公立化を目指している。3月、市議会へ請願し、全会一致で採択されたので、これから検討会が発足し検討していくことになっている。

当校の課題として、この委員会で考えてほしいことは、留年、退学が多いことである。学力低下、金銭面での退学だけでなく、学力に問題なくても進路変更として退学していく学生がいる。どうしたらよいかご意見をお聞きしたい。

2. 自己紹介

3. 学校関係者委員会委員長の指名

釜田学校長より

長野市保健福祉部 医療連携推進課 参事兼課長 西山 純一様を ご指名する

4. 会議事項 (進行 西山委員長)

1) 当校の概況について

堀内副学校長より、パワーポイントの資料に沿って、当校の概況について報告する。

本校の特徴について、学生の養成状況(国試の合格率)・就職先(地域貢献度)・各種奨学金について。本校の現状と課題についての説明。

【質疑応答】

- Q. 今年、准看護学科が増えていることで、将来的に第 2 看護学科への進学が増えていくということになるのか。
- A. 准看護学科では、入学時 5 年をかけて看護師なるということを目指しているが、入学してくる年齢が高かったり、子育て世代の学生であることから、子どもの進学等を理由に進学しないこともあるため、一概に第 2 看護学科の学生が増えるとはいえない。

2) 令和6年度学校自己評価について(資料)

資料を用い、堀内副学校長より説明する。

【質疑応答】

- Q. 学習習慣が身につけていない学生、キャリア意識が低いとする学生は、看護師として輩出できるのか。
- A. 学習習慣が身につくように教員が多く関わるようにしている。しかし、看護師になりたい動機が親や高校の教員に勧められたからという学生がいる。そのような学生が臨地実習に行くと「私には向いていない」「看護師のイメージと違った」などすぐに退学という決断をすることがある。しかし、本当に看護師になりたいと思う学生は、留年しても看護師となり卒業していく。

意見

- ・近年、病院で新人看護師を見ていると自己研鑽を積んでいく人が少ないように感じる。
 - ・大卒の初任給が30万の時代。看護師の仕事、大変だと思うが、給与が少ないのではないかな。
 - ・今の時代、あきらめることが速く、辞めるという選択肢を簡単に選んでしまうのか。
 - ・キャリア教育は難しい時代かもしれない。自分のやりたいことが決まっていって、それができなければやめてしまう。新人看護師の配属先について慎重になってしまう。
 - ・資格取得に興味があり、資格を取ってどのように働きたいのかまで考えていない学生が少なくない。この時代背景もあるかもしれないが、資格取得＝収入安定という意識があるのかもしれない。
- Q. 保護者アンケートの項目で就職進学支援体制について他と比較し低いのでは？
学校では、どのようなキャリア支援を行っているのか。
- A. 就職試験が年々早まってきている中、3年制の専門学校では、臨地実習を数回しか経験していない状態で就職試験を行っているという現状がある。まだ、どんな看護師になりたいのかイメージが明確になっていない状態。入学して1年次からどのような看護師になりたいのかを考えられるように支援している。
- Q. 小中学校で教育の方法が変化してきていることもあるのか、新人教育などで近年、一方的な講義では難しいと感じている。考えていることはたくさんあるのにそれを表現できないように感じる。考えを引き出すような方法が必要と考えているが、学校ではどのような講義を行っているのか。
- A. グループワークを多くし、考える内容を入れている。考えがあっても、失敗したくない、間違えたくないと発言することが難しく、ディスカッションにならない。考えること、人に伝えること、人の意見を聞くことができるように関わっている。

3) その他 特になし

5. 閉 会

令和6年度 学校自己評価に係る意見照会(学校関係者評価委員会・欠席者分)

I. 教育理念・目標

「周知が不足している」という課題に対して、式典に来ない保護者も多いため、毎年オクレンジャー等で周知を行うのはいかがでしょうか？

II. 学校運営

多方面で色々な壁もあり、大変かと思えます。

今後も看護学校の必要性や魅力を押し出し、より発展していけることを願っております。

III. 教育活動

様々な背景、経験、環境といった広範囲な状況の生徒、またその一人ひとりの意欲や学習習慣に対応する先生方の仕事量も大変な負担となっていることもあるかとお察しします。先生方が豊かであって、初めて生徒にも伝わるものもあるかと思えます。心身ともにご健康にお気をつけて、ご自愛下さい。

IV. 学修成果

全国平均以上の国家試験合格率、准看合格率 100%は本当に素晴らしく、先生方のご指導の賜物だと思います。色々なところでアピールして頂けたらと思います。

V. 学生支援

色々な面をもった一人ひとりの学生に対する先生方の大変なご苦勞、お察しします。穏やかだけではない状況も多々あるかと思えます。

生徒の個々の環境や学習における意欲等に関しては、先生方との「信頼関係」もしっかり築けたうえで向上、改善できる指導、相談、対応を含め生徒と共に歩んで下さると有り難いです。

VI. 教育環境

特になし

VII. 学生の受け入れ募集

SNS 等、今後も認知度がアップするよう、継続、応援しています。インスタがかわいいです。

VIII. 財務

特になし

IX. 法令等の遵守

特になし

X. 社会貢献・地域貢献

地域医療に移行が進む中、学生の意識はまだまだ目の前の課題であったり、大きな組織での従事であったりと遠い存在であるかもしれませんが、いずれ繋がっていると感じられる人間として成長してくれたら嬉しいと思っています。